

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	外国語とその運用（朝）		
英文授業科目名	Foreign Languages and Practice		
開講年度	2004年度	開講年次	3, 4年次
開講学期	5, 7(6, 8)学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	廉 東浩（学内連絡教官 湯川 敬弘）		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
dhyeom21@ybb.ne.jp	

【主題および達成目標】
授業の目標：基礎文法を用いた基本文型を学ぶことになる。日常的な会話の文型をはじめとする様々な表現の基本文型を覚えることである。

【前もって履修しておくべき科目】

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
改定版 『韓国語レッスン』初級? 金 東漢・張 銀英 共著 スリーエーネットワーク

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

前半：母音と子音の読み方、辞書の調べ方、ハングルのローマ字表記と日本語のハングル表記などを整理し、基本的な文法を習いながらあいさつ、簡単な自己紹介などの文型を学習する。

後半：肯定文・疑問文・否定文、数の数え方などを学習する。

(前半の学習内容および達成度を見極めながら調整する。)

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法 : 平常点(出席率など)40%、期末試験40%、
課題や小テスト20%

(b) 評価基準 : 以下のことをもって合格の最低基準とする。
出席率が60%以上であり、期末テストを受けること。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等はメールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

韓国などの異国文化や言語に興味をもつこと。それに「やる気」や授業に対する積極的な姿勢が大事であることを付け加えておきたい。

【その他】